

とびり

亡き仲間たちも偲び 学生時代から 40年ぶりの演奏会

何年たってもあの日に戻れる仲間

私たちの 同窓会

桜貝吹奏楽団のみなさま (東京都大田区)



昭和43年4月の演奏会。挨拶文には「共に白髪が生えるまで」とある



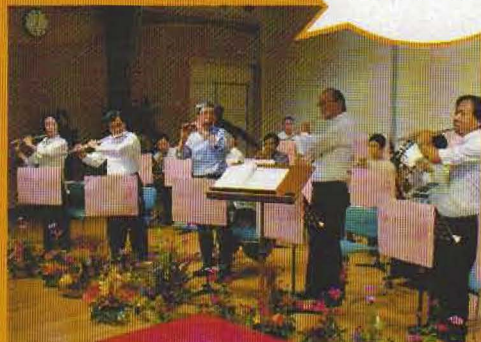
昭和43年12月、かじかむ指先を温めながら
歳末助け合い募金のために街頭で演奏



お寺や幼稚園で
練習した思い出が
よみがえってくるね

宍戸敦子さん(中央)の旧姓「桜井」と、楽団発足の舞台「貝塚中学」の頭文字が楽団名の由来

昔と変わらない、
一糸乱れぬ
チームワーク



珍しい、
打楽器だけの
アンサンブルです



夫婦2組の
カルテット、
息がぴったり!



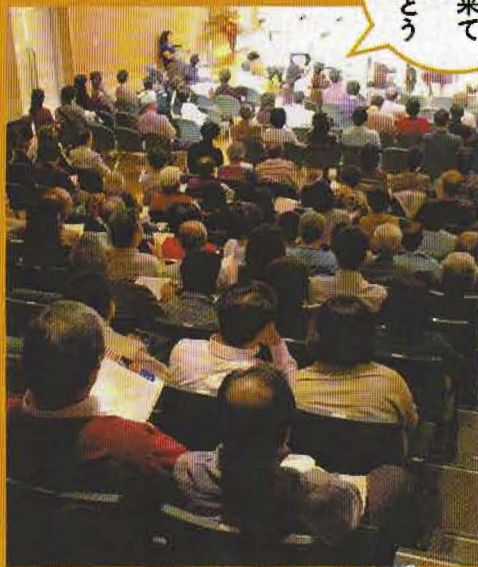
さあ、みんな
リラックス、
リラックス!



親子出演も
3組います



遠方から
応援に来て
くれて、
ありがとう



1 965年、東京都大田区
の3つの中学の合同で結
成された「桜貝吹奏楽団」は、昨
年11月に40年ぶりとなるコン
サートを開きました。

そろそろ還暦を迎え始めるメ
ンバーたち。最盛期70人のうち、
旧交を温め合ってきた仲間を中
心に34人で練習を重ねてきまし
た。当日は遠方から駆けつけた
同窓生や縁深い人たちで、会場
ごとく同窓会になりました。

指揮者は宍戸敦子さん（67
歳）。夫で初代団長の宍戸仁さ
んと2人で練習に通いました。
しかしその時、仁さんはがんを
罹病。「余命を宣告され本番の

日まで生きられないのは覚悟し
ていましたが、懐かしい仲間と
再び過ごした時間は、かけがえ
のない宝物です」。

そう話す敦子さん自身、乳が
んなどさまざまな病気を「仲間
の励ましで乗り越えられまし
た」とニッコリ。昨年1月に行
われた仁さんの葬儀は、2人の
結婚式の時と同じように音楽と
花と仲間たちの声であふれてい
たそうです。

コンサート当日、仁さんをは
じめ4人の仲間の追悼の意もこ
めた「千の風になって」の演奏が
始まると、会場は大合唱と温か
な涙で包まれました。

桜井先生(宍戸さんの
旧姓)は今も僕らの憧
れ。年をとったのは
僕ら生徒だけ?



昭和45年、宍戸敦子さんと仁さんの結婚式
を団員のウエディングマーチで祝福

